



鹿骨東小学校



鹿骨東小学鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

「人の役に立つ人間になるために」～AI時代の幸せとは～

江戸川区立鹿骨東小学校 校長 中田 伸代

よく頭の良い人のことを「1を聞いて10を知る人」などと言います。周りの人の「空気」や言葉の「行間」を読んで、スムーズにコミュニケーションをとれる人の事です。AI(人工知能)は、眠らず、休まず、膨大な情報量を記憶し続ける事ができます。知識の量だけでは人間はAIにかないません。しかし人間にあってAIにない脳があるそうです。それは「感情をつかさどる脳」です。今まで冷たく人を切り捨てていたような人でも、相手の状況を考えて、今までとは違う優しい判断をする事があります。それは人に感情があり、「人としてどうすべきか」をを考えて、行動を選択・判断する力があるからです。

脳科学から言っても幸せな人の脳は良く発達するそうです。では幸せな人の脳の特徴とは何でしょうか？幸せの為に本当に大事なものは、日々満足していること、生きる力に対して前向きであること、そして「自分は幸せだ」と自覚することだそうです。ネガティブにものを考えれば脳は萎縮し、ポジティブに考える人はのびのびと考えると脳がさらに発達し、頭が良いからこそさらに楽観的に考えることができ幸せになるのでしょうか。

○幸せな人の特徴

幸せな人は、自己肯定感が高い。⇒自己肯定感が高い人は、頭がいい。

○自己肯定感が高い人の特徴

- ・自分と他人を比較しない。
- ・自分と周囲の幸せを願っている。
- ・自分の長所を知っている。
- ・SNSと距離を置いている。
- ・不必要な情報は遮断する



写真：剣玉をして笑顔のベトナムの少年・宍戸仙助先生（中田撮影）

(加藤 俊徳 「頭の良い人の脳の秘密」PRESIDENT 2023. 11. 17より)

先日の道徳地区公開講座では「認定NPO法人CSRスクエア理事長」宍戸仙助先生に「人の役に立つ人間になるために」というお話をして頂きました。ラオスやベトナムの貧しくても瞳を輝かせて笑顔を見せる子供たち。その理由は、家族の為に働く中で、「家族の役に立っている」という自信を持ち自己肯定感が高まっているからだと言われました。

<道徳地区公開講座 宍戸仙助先生の「人の役に立つ人間になるために」のご講演を聞いた6年生の感想>

○ベトナムの人がくれた1970円は貴重な1970円だと思いました。蛇口をひねると水が飲めるのはあたりまえじゃないとわかったので、自分たちにできることをしようと思いました。勉強は「将来のため」「高い車に乗るため」ではなく「人の役に立つためにする」ということを知ることができました。困っている人を見たらできることをしようと思いました。

○ベトナムやラオスの人たちは、臓器売買をされてしまうほど大変な生活なのに、日本に1年に1度しかもらえない貴重なお金やごちそうの鶏などを寄付してくれて、とても優しい国だと思いました。私たちも募金や寄付などをして、ベトナムやその他の人達の役に立てたらいいなと思いました。

人の感情は体験と結び付いたとき、さらに知識と記憶として定着していきます。6年生は親水緑道の掃除と、募金活動を行うことを決めたそうです。成功も失敗も含めて様々な体験の中で、人にしかできない、人の気持ちを思いやり、自他を尊重し、社会で役立つための選択・判断ができる子供たちを育てていけたらと思います。

